《令和6年度　会計課　組織目標の達成状況》

◆目標管理者

会計管理者　　福西　弘充

主　令和6年度当初予算概要に掲載の事業に関連する項目には、「4．課題解決に向けた令和6年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

	1．現状認識 （重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など）
1	・各種施策における収支計画の把握と注視に努め、安定的な資金運用を行う必要があります。 ・令和6年3月に日本銀行がマイナス金利政策の解除を決定したことから、今後、各種預金等における金利の上昇が期待できる状況にあります。

	2．重点目標
①	今後の景気情勢やマイナス金利政策解除後の金融動向等に注視しながら、安全かつ確実に、有利な方法での資金運用に努めます。

	3．目標達成のための取組と成果目標
①	【取組】 社会経済情勢を注視しながら、適切で確実な資金運用を行うとともに、預金等にて運用可能な資金の把握と、各金融機関における金利等の情報収集や分析等を行います。 【成果目標】 金融機関との金利交渉と預金の安全性を確認した上で、利息収入がより多く得られるための資金運用を行います。

	4．課題解決に向けた令和6年度の具体的な取組 【年度末実績】
①	【取組実績】 収支計画の注視に努め、安定的な資金運用を行いながら、一般基金および歳計現金について利息収入を得るため、金融機関への定期預金等への預入を行いました。 【成果目標実績】 金融機関の安全性を確認のうえ、預入時点において最も金利の有利な定期預金等への預入を行いました。安定的な資金運用に努めた結果、前年度を上回る利息収入を得ることができました。